

# HPE Primera 600 : フィールド組み込みの設置チェックリスト

## 計画

この設置チェックリストは、**フィールド組み込み**の HPE Primera 600 ストレージシステムを対象としています。フィールド組み込みのストレージシステムは、箱に入ったコンポーネントとして出荷され、お客様の拠点で組み立てられます。

**工場組み込み**の HPE Primera 600 ストレージシステムには、別の設置チェックリストが用意されています。工場組み込みのストレージシステムは、お客様への出荷前に工場でラックに組み立てられています。

- ・ HPE Primera 600 のセットアップと設置に関するドキュメントは、<https://www.hpe.com/info/Primera600Setup> から入手できます。設置ビデオは、HPE Services Media Library (<https://sml-csr.ext.hpe.com/>) で視聴できます。
- ・ 設置を開始する前に、ドキュメント HPE Primera 600 の計画と準備をもう一度お読みになることをお勧めします。このドキュメントは <https://www.hpe.com/info/primera600docs> から入手できます。

## 手順

### データセンター

- ストレージシステムを設置するための十分な床面積があることを確認します。ストレージシステムの前面と背面にアクセスできる空間を確保します。
- ストレージシステムに冗長電源があることを確認します。
- ストレージシステムに適切な冷却エアフローがあることを確認します。
- ストレージシステムのコンポーネントを開梱し、安全に移動して組み立てるための工具が揃っていることを確認します。

### ストレージシステム

- ストレージシステムのコンポーネントを環境に順応させ、開梱します。
- コントローラーノードエンクロージャーのプルアウトタブに記載されているシリアル番号を書き留めます。後でストレージシステムを初期化するために必要になります。
- HPE Primera 600 初期化ワークシートをダウンロードし、必要事項を記入します。

### ローカルエリアネットワーク

- ストレージシステム、ストレージ管理アプリケーション、および関連ネットワークサービスへのネットワーク接続を計画します。
- 次のポートがオープンしていることを確認します : 80 (World Wide Web HTTP)、443 (HPE Primera ソフトウェア、API、HPE InfoSight)、8443 (HPE SSMC)。

- ファイアウォールとプロキシサーバーを構成して、HPE InfoSight サーバーおよび HPE RDA サーバーへのアウトバウンド接続を提供します。

### ストレージ管理コンピューター

ストレージシステムを初期化するための（ブラウザを搭載した）コンピューターを選択します。Microsoft Windows、Apple macOS、または Linux を実行しているコンピューターを使用できます。初期化が終了したら、ブラウザを搭載した任意のコンピューターを使用して HPE Primera UI を操作できます。

- Windows コンピューターを初期化に使用する場合は、<https://www.hpe.com/downloads/primeradiscoverytool> から HPE Primera Discovery Tool をダウンロードしてインストールします。
- Apple macOS または Linux コンピューターを初期化に使用する場合、HPE Primera Discovery Tool は必要ありません。
- コントローラーノードとドライブエンクロージャーの間で SAS データケーブルを接続するときは、HPE Primera Cabling Tool (Windows OS) を使用することを強くお勧めします。このツールは <https://www.hpe.com/downloads/primeracabletool> にあります。Cabling Tool を使用する前に、フィールド組み込みの HPE Primera 600 の設置と構成ガイドの説明に従って、エンクロージャーにラベルを付けます。

### HPE SSMC

ストレージシステムの初期化後、ボリュームとホストを作成および管理するには、HPE SSMC 3.6 のインスタンスにブラウザでアクセスする必要があります。HPE SSMC 3.6 を使用してボリュームをホストにエクスポートする必要もあります。HPE SSMC の単一インスタンスを使用して、複数の HPE Primera および HPE 3PAR ストレージシステムを管理できます。

- HPE SSMC バージョン 3.6 を展開します。HPE SSMC サーバーソフトウェアは、HPE Software Depot (<https://www.hpe.com/support/softwaredepot>) から入手できます。展開は VMware および Microsoft ハイパーバイザーでサポートされています。HPE SSMC サーバーソフトウェアは、標準 OS にはインストールできません。詳しくは、HPE SSMC 3.6 管理者ガイドを参照してください。

### HPE InfoSight、リモートサポート、コールホーム

HPE InfoSight、リモートサポート、およびコールホームの各機能をストレージシステムで有効にすることをお勧めします。これらの機能は初期化中に、また初期化後に有効にして構成することができます。

- HPE InfoSight アカウントをまだお持ちでない場合は、<https://infosight.hpe.com> でアカウントを作成してください。

### ホスト

- HPE Primera ストレージシステムでの使用がサポートされているオペレーティングシステムが、ホストで実行されていることを確認します。
- ホストに取り付けられているファイバーチャネル HBA が、HPE Primera ストレージシステムでの使用をサポートしていることを確認します。

### ストレージエリアネットワーク

- ファイバーチャネル SAN が、ホストをストレージシステムに接続するために正しく構成され、ケーブル接続されていることを確認します。

## 設置

フィールド組み込みのストレージシステムを組み立てて設置するには、大まかには、以下の手順を実行します。安全上の警告、詳細な手順、2U および 4U ストレージシステム構成に関する情報については、インストール/構成ガイドを参照してください。

## 手順

### ラックとレールシェルフ

- コントローラーノードとドライブエンクロージャーをケーブル接続する前に、ラックレイアウトのガイドラインを参照し、レールキットとドライブエンクロージャーが正しく配置されていること、また正しいラベルが付けられていることを確認してください。
- レールシェルフを標準 EIA 19 インチラックに取り付けます。HPE のガイドラインに従って、シェルフに最適なラックの「U」位置を選択します。レールクリップ、前面ラックネジ、背面ラックネジ、および背面ラック固定ブラケットがラックにしっかりと固定されていることを確認します。

### コントローラーとドライブエンクロージャー

コントローラーエンクロージャーには、コントローラーノードと電源冷却バッテリーモジュール (PCBM) が付属します。ドライブエンクロージャーには、IO モジュールと電源冷却モジュール (PCM) が付属します。一部組み立て済みで注文した場合、ドライブおよびファイバーチャネルアダプターカードはすでに取り付けられています。一部組み立て済みで注文していない場合、ドライブおよびファイバーチャネルアダプターカードを取り付ける必要があります。

- コントローラーノードエンクロージャーをラックの適切なシェルフに取り付けます。付属のネジと押さえブラケットで固定します。
- 必要に応じて、ファイバーチャネルアダプターカードをコントローラーノードの背面に取り付けます。
- ドライブエンクロージャーをラックの適切なシェルフに取り付けます。付属のネジで固定します。エンクロージャーにドライブがすでに取り付けられている場合は、エンクロージャーのフロントベゼルカバーを取り付けます。
- ドライブエンクロージャーにドライブが取り付けられていない場合は、ドライブを取り付けてから、エンクロージャーのフロントベゼルカバーを取り付けます。ドライブを取り付ける位置 (スロット) については、必ず HPE Primera 600 のガイドラインに従ってください。ガイドラインに従うことは、ストレージシステムの最適なパフォーマンスと信頼性を確保するために不可欠です。

### SAS データケーブル接続

- ラベルが付いた SAS データケーブルとドライブエンクロージャーがストレージシステムに付属している場合、ケーブルを接続します。付属のケーブルオーガナイザーを使用して、所定の位置にケーブルを保持します。
- ラベルが付いた SAS データケーブルとドライブエンクロージャーがストレージシステムに付属していない場合は、付属のラベルシートを使用してラベルを追加します。ラベルを付ける作業は、フィールド組み込みの HPE Primera 600 の設置と構成ガイドを参照しつつ、HPE Primera Cabling Tool を使用して行うことを強くお勧めします。ケーブルを接続したら、付属のケーブルオーガナイザーを使用して、所定の位置にケーブルを保持します。

### ネットワークケーブルの接続

- サイトネットワークのイーサネットケーブルを、各コントローラーノードの背面にある管理 (MGMT) ポートに接続します。付属のケーブルオーガナイザーを使用して、所定の位置にネットワークケーブルを保持します。

### ホストのファイバーチャネルケーブル接続

- ホストからのファイバーチャネルケーブルを、コントローラーノードの背面にあるファイバーチャネルアダプターに接続します。ホストケーブルをアダプターカードのポートに接続するときは、HPE Primera のガイドラインに従ってください。
- ホストのファイバーチャネルケーブルに適切なラベルが付いていることを確認します。付属のケーブルオーガナイザーを使用して、所定の位置にケーブルを保持します。
- ファイバーチャネルスイッチを介してホストを接続するときにストレージシステムが認識する World Wide Name を制限するには、ファブリックゾーニングをセットアップする必要があります。

### 電源ケーブルの接続

- 電源コードを PCBM および PCM に接続する前に、ストレージシステムのパワーディストリビューションユニット (PDU) が OFF の位置にセットされていることを確認します。(PCBM および PCM には ON/OFF スイッチはありません。)

- PDU からの電源ケーブルを PCBM および PCM に接続します。
- 個別の電源を PDU に接続します。
- ストレージシステムがケーブル接続され、電源をオンにする準備ができました。

### 電源投入

- PDU の電源をオンにします。ストレージシステムが起動し、セルフテストのルーチンが完了するまで最大 10 分待ちます。
- 起動が完了したら、エンクロージャー、PCBM、PCM、IO モジュール、ドライブの LED ステータスランプが緑色で点灯していることを確認します。

## 初期化

ストレージシステムの初期化中、ハードウェアの準備状況、電源の冗長性、最適な SAS データのケーブル接続、コンポーネントのヘルスがチェックされます。初期化により、工場出荷時にストレージシステムにインストールされた HPE Primera UI にもアクセスできるようになります。

初期化中、説明手順の指示に従い、ストレージシステムとネットワーク構成について、また HPE リモートサポートと HPE InfoSight 関連の設定について基本情報を入力します。

初期化中に参照できるように、HPE Primera 600 初期化ワークシートの記入を先に済ませておくことをお勧めします。

### 手順

- 初期化に使用するコンピューターがストレージシステムと同じサブネット上にあることを確認します。
- 物理スイッチを介してコンピューターを HPE Primera ストレージシステムに接続している場合：
  - スイッチ構成はマルチキャストをサポートしている必要があります。
  - ストレージシステムを初期化するために使用するコンピューターには、そのコンピューターが物理的に接続されるかどうかに関係なく、アクティブなネットワークが 1 つだけ必要になります。
- Windows コンピューターを初期化に使用している場合、インストールした HPE Primera Discovery Tool を起動し、説明手順に従います。
- Apple macOS または Linux コンピューターを初期化に使用している場合：
  - 一時的にポート 5353 をオープンするか、ファイアウォールを無効にします。初期化が終了したら、ポートをクローズするか、ファイアウォールを再び有効にすることができます。
  - ブラウザーで [https://primera-\*\*<systemserialnumber>.local/\*\*](https://primera-<b><systemserialnumber>.local/) にアクセスします。ストレージシステムを初期化するための説明手順に従います。

## 初期化後

### 手順

#### ユーザーとシステム設定の管理

初期化が終了した後、HPE Primera UI を使用して表示および変更できるプロパティには、HPE リモートサポート、HPE InfoSight、コールホーム、ユーザー、LDAP 構成、連絡先、VMware vCenter 接続、ネットワークサービスなどがあります。

- 続行する前に、ストレージシステム用の初期ユーザーアカウントを作成することをお勧めします。

#### ストレージボリュームとホストのプロビジョニング

ストレージシステムが最初に初期化された後、ボリュームまたはホストがないという通知が HPE Primera UI の画面に表示されます。ボリュームおよびホストを作成するには、展開した HPE SSMC 3.6 のインスタンスを使用する必要があります。

- ストレージシステムの管理を有効にするには、HPE SSMC 3.6 **Administrator Console** を使用します。ストレージシステムを追加する手順については、HPE SSMC オンラインヘルプまたはユーザーガイドを参照してください。
- ボリュームおよびホストを作成するには、HPE SSMC **Main Console** を使用します。**ヒント**：ボリュームおよびホストを作成すると、それらは HPE Primera UI にも表示されます。
- ストレージボリュームへのホスト IO が正しく機能していることを確認します。仮想ボリュームをホストにエクスポートするには、HPE SSMC **Main Console** を使用します。次に、ホスト上のアプリケーションを使用して、ボリュームへの書き込みとボリュームからの読み取りを行います。

## 関連資料

### ドキュメント

- ・ HPE Primera 600 の計画と準備
- ・ HPE Primera 600 初期化ワークシート
- ・ フィールド組み込みの HPE Primera 600 の設置と構成
- ・ 工場組み込みの HPE Primera 600 の設置と構成
- ・ HPE Primera UI オンラインヘルプまたは HPE Primera UI ユーザーガイド
- ・ HPE SSMC 3.6 オンラインヘルプまたは HPE SSMC 3.6 ユーザーガイド
- ・ HPE SSMC 3.6 管理者ガイド

### ビデオ

HPE Primera Customer Self-Install (HPE Services Media Library)